

公明ひらつか



上野 仁志 議員

課題を乗り越え確かな未来へ

令和5年度決算

問 令和5年度の行財政改革の取り組み成果と評価を伺う。

市長 平塚市行財政改革計画(2020-2023)に基づき、民間活力の積極的活用による効率化、公共施設の総量縮減による持続的管理、行政のデジタル化の3点を優先課題とし、26の事業を計画に位置付け、厳しい財政状況でも持続可能な行財政運営を展開できるように必要な取り組みを進めてきた結果、約6億2300万円の財政健全化の効果額があった。また、行政手続きのオンライン化やICTの活用推進など、計画に位置付けた活動が完了したものが、順調に進捗しているものが全体の約98パーセントに達するなど、適切に計画の推進が図られたと評価している。

問 フロントヤード改革は進んだのか伺う。

デジタル推進担当部長 市民と行政との接点となるフロントヤードの改革は、マイナンバーカードを活用したノーライト端末を障がい福祉課に設置したほか、手続きのオンライン化として5年度は249種類を実施した。

脱炭素・再生エネルギーの取り組みについて

問 二酸化炭素排出量が多い製造業に対する取り組みを伺う。

環境部長 中小事業者に対し、経営を持続させるための課題の一つとして脱炭素化への取り組みが重要だと認識してもらうため、市と平塚信用金庫、平塚商工会議所、神奈川県信用保証協会の4者で締結した「中小企業の経営支援における連携に関する協定」に基づきセミナーを開催するほか、脱炭素化に関する支援をパッケージ化して、取り組みを後押ししている。

問 国はパリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標である「Science Based Targets」を掲げている。SBT認証取得支援が必要と考えるが見解を伺う。

環境部長 企業がSBT認証を受けることを行政が支援することは、事業者が脱炭素の取り組みを広げる手段として有効だと考えるため、必要性を含め、研究していきたい。

問 新たな太陽光パネルであるペロブスカイトに対す

る本市の認識と、実証実験などに対する見解を伺う。

環境部長 ペロブスカイトは次世代型太陽電池として軽量・柔軟といった特徴があり、従来型では設置困難だった場所へ設置可能となるなど、新たな導入ポテンシャルの創出が期待されている。国から自治体を対象とした実証実験や支援について、提案があった際は検討していきたい。



平塚市の災害対応力強化について

五十嵐 豊 議員

問 本市と災害協定を結んでいる福祉関係団体の数と連携内容を伺う。

副市長 地震や風水害、その他の災害が発生した際に他の災害が発生した際に連携を必要とする高齢者や障がい者の緊急受入れに関する協定を54施設と締結している。災害時における要配慮者の支援に関する協定を締結している専門職団体から福祉避難所の開設や運営に知見のある人を招き、訓練を実施している。

問 災害時学校は避難所となるが、避難所としての学校バリアフリーを伺う。

副市長 既に一部の学校体育館ではスロープや多機能トイレを設置しており、今後も体育館の大規模改修などを行う際には、施設のバリアフリー化を図っていく。

問 フードバンクとの連携協定締結を提案するが、見解を伺う。

環境部長 関係課と協議しながら研究していく。

問 環境部と福祉部のどちらが主幹部署となるのか、市長の見解を伺う。

市長 組織としてしっかりと応援出来る体制を含めて考えていきたい。

このほかの質問 学校水泳授業について マイナ保険証について

フードバンクとの連携支援について

問 フードバンクとの連携協定締結を提案するが、見解を伺う。

環境部長 関係課と協議しながら研究していく。

問 環境部と福祉部のどちらが主幹部署となるのか、市長の見解を伺う。

市長 組織としてしっかりと応援出来る体制を含めて考えていきたい。

このほかの質問 学校水泳授業について マイナ保険証について



石田 美雪 議員

誰もが心地よく暮らせるまちを目指して

問 平塚高村団地及びその周辺地域における地域医療福祉拠点整備モデル地区事業について、障がいの種類はさまざまあるが、身体や精神などで違う視点があると考え、それぞれの意見を聞いて進めてもらいたいと思うが、見解を伺う。

福祉部長 昨年、障がい福祉サービスマネジメント推進事業の目標や課題などを共有しているが、今後想定される大規模災害に対応できるよう、引き続き定期的な点検や保全工事などを行い、有事の際に備え、維持管理に努めていく。

問 台風10号による大雨で浸水被害が発生したが、本市の浸水対策を伺う。

副市長 本年3月に策定した「平塚市総合浸水対策第3次実施計画」に基づき、これまでの管路整備のほか、河川水位の状況に影響を受けない貯留管や調整池などの雨水調整施設の整備にも取り組むなど、地域の特性に合った効果的な取り組みを着実に進めていく。

このほかの質問 学校における音声教材の活用について 新たなサイクルの取り組みについて

問 有する場を持った。今後も意見を反映できるように進めていきたい。

問 高村団地敷地内にある空き店舗の活用はにぎわい創出をするためには必要だと考えるが、見解を伺う。

福祉部長 今後テナントが進出しやすいよう、内装や家賃などの工夫ができないか、UR都市機構側に働きかけていきたい。

問 令和6年3月定例会で

乳がん検診の受診率向上を図るため、大型商業施設での乳がん検診継続を提案したが、検討状況を伺う。

健康・こども部長 利用者アンケートでも好評価をもらっており、来年度の実施に向けて調整している。

問 乳がん検診時の視触診の必要性について伺う。

健康・こども部長 マンモグラフィ単独検診を実施することを平塚市医師会と確認し、7年度からの実施に向け、乳がん検診実施医療機関に通知文を発送した。

問 出産後の女性のためには、搾乳スペースの設置推進を求める声がある。本市は保健センターの授乳室に

「搾乳室」の表示を設置するなどの取り組みをしているが、その反響を伺う。

健康・こども部長 市ホームページに掲載後、搾乳室の設置条件などの問い合わせや搾乳室の啓発を喜ぶ声などの反響が数件あった。

1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、市内を撮影した四季折々の風景など、平塚市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第235号(令和7年2月7日発行予定)に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。問い合わせください。(議会局 ☎21-8791)



請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

提出方法などについては、市議会ホームページをご覧ください。



声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ 議会局 ☎21-8791



公明ひらつか 所属議員



岡崎 通子 議員



秋澤 雅久 議員